

うと市議会だより

編集 / 議会だより編集委員会
発行 / 宇土市議会 令和3年11月1日発行
宇土市浦田町51番地
TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313
<https://www.city.uto.lg.jp/>



有明海に広がるカラフルなノリ網

いよいよノリのシーズンがやってきました。今年は、10月21日にノリの種付けが解禁され、11月から来年3月まで収穫される予定です。表紙の写真は、平成28年10月に宇土市長浜沖で撮影されたものです。色鮮やかなノリ網がまるでじゅうたんのよう海面を彩っています。（写真提供：河野敏信様）

主な内容

P2	令和3年9月定例会
P4~10	一般質問
P11~12	委員会報告
P13~14	議案・陳情等の議決結果
P14	編集後記

令和3年9月定例会

9月定例会を9月3日から9月21日まで、19日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正など条例関係4件、令和3年度宇土市一般会計補正予算など予算関係7件、決算関係9件、宇土市教育長の任命についてなど人事案件2件、専決処分の報告及び承認3件、その他1件、議員提出議案として出産育児一時金の増額を求める意見書など3件が上程されました。

このうち、水道事業会計決算及び公共下水道事業会計決算を除く決算関係の7議案については、決算審査特別委員会を設置、付託し、次期定例会(12月議会)までの間、閉会中の継続審査としました。

その他の議案については、議員提出議案の意見書1件を除いて、いずれも原案のとおり決定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、議決結果は13～14ページに、各委員会での審査内容は、11～12ページに記載しています。

専決処分

◆令和3年度宇土市一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ4,877万8千円増額し、総額を203億4,170万3千円とする。主なものは、轟緑川第1排水機場整備事業、時短営業等関連事業所向け給付金事業(新型コロナウイルス対策分)の増額補正。

◆令和3年度宇土市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ414万9千円増額し、総額を203億4,585万2千円とする。主なものは、学校管理費(一般経費(学務・中学校)の増額補正)。

条例

◆公益的法人等への宇土市職員の派遣等に関する条例の一部改正

公益的法人等への再任用短時間勤務職員の派遣を可能とし、柔軟な人事配置を行うため、条例を改正するもの。

【主な内容】

公益的法人等へ派遣できない職員の例外規定に、新たに再任用短時間勤務職員を追加し、同職員の派遣を可能とする。

【施行日】

公布の日

◆宇土市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

宇土市消防団員の定員を変更するため、条例を改正するもの。

【主な内容】

宇土市消防団員の定員の変更

変更前 565人 ↓ 変更後 555人

【施行日】

公布の日

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

宇土市消防団員の機関員として業務に従事する団員の年額報酬の支給方法を実情に合わせて見直すため、条例を改正するもの。

【主な内容】

機関員個人への支給を廃止し、「熊本県消防協会宇土市支部補助金」の「班割」として支給する。

【施行日】

公布の日(令和3年4月1日から適用)

予算

◆令和3年度宇土市一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ4億3,962万1千円増額し、総額を207億8,547万3千円とする。主なものは、ふるさと宇土応援基金経費、学校ICT環境整備事業(新型コロナウイルス対策分)の増額補正。

人事

◆宇土市教育長の任命(任期3年)

太田 耕幸 さん(継続)

◆宇土市教育委員会の委員の任命(任期4年)

岳元 さよ子 さん(新任)

その他

◆宇土市道路線の認定

市道の路線を認定する必要があるため、道路法第8条第2項の規定により、議会の議決を求めるもの。

【認定する路線名】

上松山10号線

上松山11号線

◆令和3年度宇土市一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ4億3,962万1千円を増額し、総額を207億8,547万3千円とする。

費目 (歳出概要)	補正額 (単位：千円)	歳出の主なもの ()内は補正額【単位：千円】
議会費	664	職員給(664)
総務費	251,785	ふるさと宇土応援基金経費(270,000)
民生費	51,111	放課後児童クラブ等ICT化推進等事業(7,500) 新型コロナウイルス感染症対策事業【学童利用料減免補填分】(10,013)
衛生費	23,794	新型コロナウイルス感染症対策事業【消毒事業補助金】(2,500) 新型コロナウイルス感染症対策事業【生ごみ処理機購入補助】(3,720)
農林水産業費	10,698	担い手育成支援経費(10,550) 農業水路等長寿命化・防災減災事業(20,500)
商工費	30,628	新型コロナウイルス感染症対策事業【営業時間短縮要請協力金】(13,816) マリーナ施設長寿命化事業(19,519)
土木費	22,695	道路維持一般経費(10,000) 公営住宅維持管理経費(11,100)
消防費	11,810	避難所強化事業(13,596) 新型コロナウイルス感染症対策事業【危機管理課分】(848)
教育費	32,347	学校ICT環境整備事業【新型コロナウイルス対策分】(71,369) 成人式経費【新型コロナウイルス対策分】(738)
災害復旧費	4,089	令和3年梅雨前線豪雨災害対策経費【農林水産課：単独災害分】(3,174) 令和3年梅雨前線豪雨対策経費【文化課分】(460)

決算審査特別委員会を設置 (R3.9.21)

○決算審査特別委員会

委員長	副委員長	委員
西田 和徳	小崎 憲一	宮原 雄一 檜崎 政治 芥川 幸子 杉本 信一 福田 慧一

≪決算審査特別委員会とは≫

歳入歳出予算執行の実績である決算の案件を審査するために設置される委員会のことをいいます。議会が決定した予算が適正に執行されたか、見込んだとおりの行政効果を達成することができたかを審査し、その結果は翌年度以降の予算編成や行政執行に生かされます。



決算審査特別委員会 (R3.10.11)



発言順	氏名	質問事項（大項目）	掲載ページ
1	榎崎 政治	(1) ため池、堤等の老朽化及び防災対策について (2) HPV(子宮頸がん)ワクチンについて (3) 化学物質過敏症について	5
2	野口 修一	(1) コロナ渦中の市民生活 (2) 道路維持・整備 (3) 高速通信の活用 (4) 農商工連携・6次産業	6
3	芥川 幸子	(1) 通学路総点検について (2) 企業版ふるさと納税について (3) 教育環境について (4) 難病支援眼鏡の購入について	7
4	福田 慧一	(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止について (2) 健康診断について (3) 小中学校の校則について	8
5	今中 真之助	(1) コロナ禍の避難のあり方について (2) 地域の維持管理について (3) 新型コロナウイルスワクチンと子どもへの対応について	9
6	園田 茂	(1) 国土交通省による熊本57号笹原トンネル新設工事について (2) 轟泉水道石管の地中埋設部分の「見える化」について (3) 宇土市ジュニアスポーツ応援委員会について	10

※上記質問事項については、一部記事として掲載されていない場合もあります。

※上記 QR コードから、定例会の録画映像を視聴できます。

議会の豆知識 ⑤

.....
専決処分ってなに？

.....
条例や予算などは議会が議決しなければなりません。しかし、時間的に議会の招集を待てない緊急の場合もあります。そのようなときに市長が議会に代わって決定することを行います。

.....
専決処分をしたことは、次の議会で報告し承認を求めする必要があります。

.....
継続審査ってなに？

.....
会期中に議決されなかった議案などは、原則として次の会期には引き継がれることなく、廃案となります。しかし、会期中に結論が出ず、会期を延長するほど緊急ではない場合もあるため、例外として、本会議の議決によって、付託された委員会が閉会中に引き続き審査を行うことをいいます。





香害に関するポスター(消費者庁HPより)



五色山の麓にある内浦池

子宮頸がんとHPVワクチンに関する正しい理解と情報提供について



(宇土、みらい)

榎崎 政治 議員

子宮頸がん HPVワクチンについて

問 子宮頸がんは国内で年間約1万人が罹患し、約3,000人が死亡しており、患者数・死亡者数ともに近年増加傾向にある。しかし、日本ではワクチンの副反応が原因で、接種率が1%に過ぎない。大阪大学の研究グループは、接種率が低いまま定期接種の対象年齢を超えた女性(今年度18歳から21歳の女性)で、将来の罹患患者数が約1万7,000人、死亡者数が約4,000人増えることを発表している。ここ数年で世界的にエビデンスが集まってきているが本市の考えは。

答 HPVワクチンについては、日本の接種率1%未満に対し、80%を超える国もある。昨年、国から市町村に対し、HPVワクチン接種について、その有効性と安全性、接種を希望した場合の円滑な接

種のための情報を届けるため、接種の対象者及び保護者向けに個別に通知するよう勧告があつている。本市では、国の勧告に沿った対応を行うこととし、対象者に向けてリーフレットを送付している。昨年度と比べ今年度の接種者が増加したのも、この通知による効果ではないかと考えている。

(健康福祉部長)

化学物質過敏症について

問 化学物質過敏症は、頭痛やめまい、倦怠感など様々な体調不良を誘発し、体調不良にもかかわらず、周囲から理解されずに苦しむ方がいる。化学物質過敏症のことを多くの方に知ってもらうためにも、イラスト入り等、わかりやすいチラシやポスターを作成したらどうか。

答 関係部署と連携し「香害」への配慮を促すチラシを保護者向けに保育所や学校を通じて全家庭

に配布すると共に、市の広報紙やホームページにも掲載するなど広く周知を図っている。また、既存のチラシやポスターには、わかりやすいものが多くあるため、まずは、利用可能なチラシやポスターを活用し周知していきたい。

(健康福祉部長)

ため池、堤等の老朽化及び防災対策について

問 上松山区にある農業用ため池(内浦池、北山内池)の老朽化及び防災対策の進捗状況と今後の取組は。

答 上松山区にある内浦池と北山内池の老朽化及び防災対策の進捗状況については、今年度、市単独事業で、この2つのため池の基礎調査業務を行っている。基礎調査結果を基に、ため池ごとの改修計画の作成及び改修の優先順位付けを行い、令和4年度に国庫補助事業の採択に向けた県のヒアリングにおいて、ため池の改修計画の協議を行う。採択された場合は、令和5年度からため池改修の測量設計業務に取り組み予定である。

(経済部長)



線路面と道路面に高低差のある交差点
(住吉町中村踏切交差点)



改良後の網田踏切交差点

宇土市の道路改善とICT化の取組



(宇土市政研「志」)

野口 修一 議員

国道57号線・JR・県道・市道の交差点

問 最近、網田踏切と網津町新村踏切の線路面と道路面が同じ高さになり、非常に使い易く安全になったが、他の箇所も同様にしてほしいとの意見が多い。改良は可能なのか。

答 JR、国土交通省、熊本県公安委員会との協議が必要であり、また、国道隣接地への影響も生じるため、ハードルが高いものになる。(建設部長)

要望 せめて長浜東踏切、網津町旭の瀬戸屋踏切、給食センター前踏切は改良してほしい。

市内県道の路線

問 県道設置の定義と市内の県道の路線数及び整備状況は。

答 県道は、広域交通を担う主要地方道と、それ以外の一般県道に区分される。

主要地方道が八代鏡宇土線、宇土甲佐線、宇土不知火線、一

般県道が走潟廻江線、郡浦網田線、川尻宇土線、合計6路線である。

意見 市内の県道の道路改良率は59.2%であり、県全体の66.3%を若干下回っている。(建設部長)

も低い。道路は、住民の協力がなければ進展しない。防災で言うところの共助の意識が低いと思われる。

八代海沿岸道路計画と市街地南エリア開発

問 八代海沿岸道路を高架の自動車専用道路で延伸し国道501号線につながることで、市街地を通る大型車の問題解消になる。更に八代海沿岸道路と有明海沿岸道路を結び、栗崎町にインターチェンジを設けることで、将来は、インター周辺に住宅開発の可能性が大きくなる。このアイデアに対する市長の感想を聞きたい。

答 八代海沿岸道路と国道501

号を結ぶことは、大型車両の問題解消に効果的だと思われる。また、八代海沿岸道路と有明海沿岸道路を結ぶことは、人・モノの交流促進が図られ、本市にとっても価値がある。その価値を高めるためには、インターチェンジの位置が重要になる。まずは、路線の具体化に向け、関係する自治体と調整したい。(市長)

市内企業・商店のICT化の状況

問 市内事業所のインターネット利用の現状は。

答 非対面型ビジネスモデルへの転換・テレワーク環境整備等に対する小規模事業者持続化補助金の昨年度の採択が45件で、そのうちICT化の実施に活用された件数は10件であった。(経済部長)

情報化ビレッジ推進

問 網田地区と網津地区に、ICTに長けた地域おこし協力隊を配置して、情報化ビレッジ事業を推進してはどうか。

答 議員提案の地域おこし協力隊等を活用した情報化ビレッジ形成プロジェクトは、地域におけるICTの活用促進を図る上で、早急に検討課題として取り組む。(企画部長)



通学路の合同点検の様子

子どもの目線や地域住民の声を重視した通学路の安全確保を

通学路総点検について

問 通学路における合同点検等実施の具体的な対応について。

答 8月19日に合同点検を実施している。ガードパイプの劣化による補修、外側線の引き直し、横断帯の設置要望等が学校やPTAからあっており、地域からは、渋滞時に横断者が見えにくいため、網津地区県道交差点への横断歩道設置等の要望があった。今後の安全対策は、各機関で対応できるハード面、ソフト面の両面について検討し、結果については、今後担当者会議、推進会議を経て公表する。

(教育部長)

企業版ふるさと納税について

問 本市における企業版ふるさと納税の募集に関する取組と、寄附金を活用して実施した事業の内容について。



(公明党)

芥川 幸子 議員

答 平成30年度に2件の企業から130万円、令和元年度は1件の企業から30万円の寄附があり、市内小中学校のICT環境の整備や英語教育の推進に活用した。令和2年度は1件の企業から30万円の寄附があり、宇土マリーナ整備事業に活用した。これまでの企業訪問に加え、今年度からは、さらなる寄附金の獲得を図るため、民間企業とコンサルティング契約を締結した。その結果、8月末現在において1件の企業から100万円の寄附があり、ジュニアスポーツの推進に活用することとしている。

(企画部長)

オンライン学習の取組について

問 本市の現状と問題・課題及び今後の取組について。

答 現状として、学校内では昨年度末までに体育館等を含めた学習を行う全教室にネットワーク

環境を整備しており、調べ学習や簡易的なソフトの活用等を実施、学習以外では全校集会等をオンラインで行うなど活用している。問題・課題は、児童生徒が安全に端末を使用するための知識の習得と家庭内のネットワーク環境の整備が挙げられる。なお、ICTを活用したオンライン学習の今後の進め方は、「学校ごとの進め方があり、すべての学校が同じ方法で進める必要はない。」と考え、学校ごとに、学校内によっては学年ごとに、準備が整い次第スタートさせる方法を考えている。学校へは「校長の判断で、出来ることから取り組むように」と周知している。

(教育部長)

難病支援眼鏡の購入について

問 日常生活用具給付品に、網膜色素変性症の方に有効な「暗所視支援眼鏡」を加え、給付対象にできないか。

答 今後給付要件などについて、既に給付を行っている他自治体の状況を参考にしながら、「暗所視支援眼鏡」を日常生活用具の給付対象とする準備を進めていく。

(健康福祉部長)



中学生の登校の様子

「下着や靴下の色は白」「ツブロック禁止」など子どもの基本的人権の視点から校則の見直しを

小中学校の校則の見直しを



(共産党)

福田 慧一 議員

問 校則では特定髪型の禁止、服装では靴下の色、長さやポイントの指定など多くの疑問がでてい。学校を運営していく上で校則は必要だが、行き過ぎた人権侵害や監視、管理のためであつてはならない。社会常識や時代の進展などを踏まえ見直しが必要だ。教育長に校則についての考え方を、髪型のツブロックはなぜ禁止か聞きたい。

答 校則は法律の規定は無いが、学校が教育目的を実現する過程で、児童生徒が遵守すべき学習上・生活上の規律として定められるもので、児童生徒の行動に一定の制限を課すことができ、学校長が制定するとなつている。また、ツブロックが禁止なのは、学校が華美であると判断したもので、今後は、児童生徒の実情、保護者

の考え方、地域の状況、社会の常識、時代の進展など踏まえたものになつているか、多方面から意見を求め合意形成を図る体制を構築し、随時見直しできるように周知していく。(教育長)

意見 禁止の理由として華美だと言うことだが、ツブロックをぜいたくや派手と思う人はいない。見直すべきだ。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

問 新型コロナウイルス感染は、デルタ株に変わり高齢者の感染は減り、代りに子どもや若い世代の感染が増している。PCR検査の拡大と保育園、学校などの感染防止対策と若い世代へのワクチン接種の促進が必要だ。市の対策は。

答 本市では夏休み前から市内の保育所や放課後児童クラブ、

幼稚園、小中学校、高校に勤務する職員を市外在住者も含めワクチンの優先接種対象とした。これにより2学期の前には大半の職員が2回接種を完了している。これらの施設ではクラスター発生の可能性も高く、従事者に対する検査体制を検討する必要があると考える。(健康福祉部長)

健康診断の受診率向上を

問 コロナ感染の影響で健診受診者が減っている。コロナ禍だからこそ特別の対策をとり、がんや糖尿病など基礎疾患を早く見つけ、ワクチン接種につなげ重症化を防ぐ取組が大事だ。市の対応は。

答 コロナ禍による受診控えを防ぐため、市実施の健診、国民健康保険、介護保険未利用者への訪問や、昨年度と今年度の未受診者へのハガキの送付、国民健康保険証の年次更新通知や幼児健診通知書内に勧奨チラシの同封、ワクチン接種会場でのポスター掲示、新聞へのチラシ折込み等を実施した。今後もコロナ禍での健診実施になるため、感染予防しながら受診勧奨に努める。

(健康福祉部長)

私が子どもへの現新型コロナウイルスワクチン接種を阻む理由

- ① これまでに県内では、累計14,266人(10月1日時点)がPCR検査で陽性となっているが、**10代の新型コロナウイルス感染・発症に因る重症化・死亡割合は0%**であり全国も同様。
- ② 一方、厚労省が公表しているワクチン接種後の副反応疑いは、**10代の接種者数約303万人に対して、副反応707人、その内、重篤な副反応が90人、死亡が2人。**(10月1日厚生科学審議会資料より)
- ③ このことから10代の健康な子どもにとっては(重い基礎疾患の有る子どもは別として)新型コロナに罹患して重症化するリスクよりも、ワクチン接種で重篤な副反応がでるリスクの方が高い。故に「**10代へのワクチン接種の勧奨はすべきではない**」

将来、遺伝子ワクチンがどう影響するかは未知数。接種後に異常がなくても安心できないことを理解して欲しい。

子どもへのワクチン接種は様々なリスクを考慮の上、検討を

新型コロナウイルスワクチンと子どもへの対応について



(宇土市政研「志」)

今中 真之助 議員

問 本市ではワクチン接種を国が接種を推進しているので実施しているのか。市の考えはどうか。また子どものワクチン接種の進捗状況と今後の計画についてお聞きしたい。

答 新型コロナウイルスワクチンは、感染拡大、重症化予防の切り札として、全世界において接種が推進されている。本市においてもワクチン接種を終えた年代のPCR検査陽性者は明らかに減少しており、その効果について一定の評価をしている。

12歳から15歳の子どものワクチン接種に関しては、学校や市が運営する集団接種会場ではなく、医療機関で個別に保護者同伴での接種を考えている。この子どもへの接種については、その安全性を懸念する声の一部に

あることも承知しているが、接種にあたっては、メリットとデメリットを本人と保護者が十分に理解していること、接種前・接種中・接種後にきめ細やかな対応を行うことが前提である。このワクチン接種はあくまでも任意接種であり、接種の強制はしない。

(市長)

問 そうであるならば、十分な検討材料となる数字的根拠を市から示してほしい。未成年や各年代において、コロナへの感染が直接の原因で亡くなられた方と、現在、因果関係は認められないとされているが、ワクチン接種後数日以内に亡くなられた方とを比較すると、ワクチン接種後に亡くなられた方のほうが多い。これらを見て市はワクチン接種をどう考えるか。

答 デルタ変異株による感染者が急速に増えている中、これを

くい止めるにはワクチン接種しかないと思っている。ワクチン接種後の死亡数の統計については十分な考察、分析が必要と考えている。また若い人が感染した場合の死亡率は低いいため、ワクチンの安全性と比較し、接種しないという選択については、死亡率だけを見るのではなく、感染した場合の不利益も考慮すべきである。中高生では、これから受験や就職という人生の大きな分岐点に差し掛かってくる。大事なこの時に感染リスクを減らしたいと考えるのは当然の流れと思う。このため引き続き、感染予防に努めていただくよう呼びかけると共に接種を希望する方がおられる限りワクチン接種の推進に取り組んでいく。

(市長)

要望 そのワクチンで多くの方が命を失っており、その後の後遺症についてもわかっていない。今こそコロナに感染しないような高い免疫力を保持する食生活を促すなど、ワクチン以外の打開策を進めてほしい。



日本名水百選に選ばれている轟水源

轟泉水道地中埋設部分の「見える化」による観光資源化について

轟泉水道石管の地中埋設部分の「見える化」について

問 轟泉水道石管の地中埋設部分は、地中にあるため保全、管理が困難である。市道の数ヶ所でも地中部分の「見える化」を行うことで、保全、管理、修繕又は観光資源としての活用もできると思われるがいかがか。

答 道路下の水道管の修繕については、つまりや水漏れ箇所の特定が大変難しく、また、掘削には重機を使用する必要があり、修繕を担当されている轟泉簡易水道組合員の方が大変苦労されている。市道下の水道管の「見える化」を要所所で行うことで水道の維持管理に利用できる可能性があるとともに、轟泉水道の見学ポイントとして、地域学習や観光面での大きな効果が期待される。今後、轟泉水道の保存管理について



(無所属)

園田 茂 議員

は、官民協働で継続して取り組んでいきたいと考えている。

(教育部長)

熊本57号笹原トンネル新設工事について

問 今年の12月以降、一日100台を超えるダンプトラックの往来が予定されている。それに伴い粉じん、振動、道路陥没などの問題が発生すると思われるが、地元住民への説明と市としての対応について伺いたい。

答 今年12月頃から本格的にトンネル工事が始まる予定。多い時期でダンプトラックが一日当たり100台、往復で200台程度、宇土南部農免、椿原町、高柳町、国道501号、宇土北部農免、国道57号等を通行する。地元住民への説明としては、5月に工事請負業者から椿原町と高柳町の道路沿線住民に工事説明資料が配布

されている。また、10月には国土交通省から運搬ルート上の行政区長に対し説明が行われる予定となっている。

ダンプトラックの通行による対策については、国土交通省と協議を行い、集落内の速度制限(時速30km以下)や交通誘導員の配置、散水などが行われることとなっている。その他、今後、工事が本格化していく中で、新たな問題の発生が予測されるが、市民生活に支障が生じないよう国土交通省と調整を図りながら迅速な対応に努めていきたいと考えている。

(建設部長)

問 ダンプトラックの走行経路には、小中高生の通学路も含まれているが、安全管理について伺いたい。

答 市街地においては、大型工事車両の速度を時速30km以内で運行することや、視認性が悪い交差点では交通誘導員を配置し、登校時間は車両の運行をしない等の対策を講じることとしている。教育委員会としても児童、生徒の事故が発生しないように、建設部と連携して対策を講じていく。

(教育部長)

総務市民

総務部・企画部・市民環境部
行政委員会などを所管



園田茂委員長

《議案関連》

宇土市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

問 消防団員の定員を新たに10名削減することだが、主な原因は。

答 3月定例会において、不活動団員の整理ということで定員の変更を行ったが、今回は、今年度の入退団後の団員数にあわせて削減したものだ。

令和3年度宇土市一般会計補正予算(第7号)

問 身寄りがなく亡くなった際の葬祭費用については、今後も増加するものと思うがどう考えるか。また、どういった場合に費用負担が発生しているのか。

答 以前は、事案が発生した場合には、予備費で対応していたが、昨年度1件発生したため今年度当初予算で1件分を計上した。今年度すでに1件発生したため、今回、増額補正を行ったものである。今後も同様のことが想定されるため、来年度は3件分の予算要求を検討している。また、この委託料は身寄りがなく場合を想定しているが、今回のように親族に連絡がとれずも引き取りを拒否されるといったケースがある。

問 ふるさと納税の寄附額について、昨年度は11億円超の寄附があったとのことだが、今年度の現時点での寄附額は、また、昨年度との比較から今後の予測は。

答 寄附額は、現時点で約2億4千万円である。例年、12月から1月に寄附が増加する傾向にあり、昨年度は、それ以前と比較して、ヒットした返礼品の影響から寄附額が急激に増加した。現段階では昨年と同程度だが、

今後の予測については難しいと考えている。

問 昨年好評だった返礼品の品目は何か。肉類が特に好評だった。

答 特定患者等の投票について、次回の衆議院議員選挙から、新たに新型コロナウイルス感染症により宿泊・自宅療養等をされている特定患者等の投票が法改正により可能になったことだが、何人程度を想定しているのか。また、投票方法は。

答 100人以内を想定している。投票方法については、市から郵送した投票用紙等を本人等が受け取り、投票用紙に記入後、同居人や知人等又は宿泊施設の職員等に投かんを依頼して市に返送していただく。極力、感染防止に配慮した形で実施される予定。

《議案以外》

「プレミアムパス」の運行開始について

委員から意見 利用料金を住所地ごとに設定してあるとのことだが、料金を律にするべきではないか。公共のサービスでもあり、料金に差が出るのはおかしいので、今後改善の検討をお願いしたい。

サテライト宇土環境整備協力金

問 協力金のうち、約90パーセント以上が交通関係に使われているが、その理由は。

答 明確なルールはないが、協力金による地域環境整備基金から該当する事業の歳出に充てられているため、事業費が最も大きい交通関係の事業への充当額が多くなっている。

問 令和2年3月に有志議員よりジュニアスポーツの推進についての要望書を提出しており、支援の強化のために地域環境整備基金を活用できればと考えている。

答 昨年、企業版のふるさと納税として約1千万円の寄附が見込まれるとの話があり、その際は、大いに有効活用するよう担当部署に伝えている。

委員から意見 スポーツの担当部署には、必要な予算措置をお願いしていくので、財政担当部署にも配慮をお願いしたい。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



西田和徳委員長

《議案関連》

令和3年度宇土市一般会計補正予算(第5号)

問 熊本県飲食店感染防止対策認証制度の認証店に対し、本市独自でタペストリーを配布していることだが、何店舗へ配布を行ったのか。

答 本市で県の認証を受けている店舗は、9月13日現在で48店舗あり、全てに配布を行っている。

問 市内のほとんどの店舗が県の認証を受けているのか。

答 2016年度の経済センサス調査によると、当時市内には約130の飲食を伴う事業所があった。現在もその同等数が見込まれる中、48店舗が県の認証を受けている。

令和3年度宇土市一般会計補正予算(第7号)

問 市営住宅の明け渡し等に伴う修繕料について980万円計上してあるが、部屋数はどれくらいを想定しているのか。

答 部屋数ではなく、過去の費用を参考に

今後の不足分について、今回、予算計上している。

問 現在の市営住宅の空き部屋数の状況は。

答 空き部屋数は25戸である。空き部屋については、時期を決めて定期的に公募を行っている。今回は、10月に25戸分の公募を実施する予定である。

地籍調査誤り修正の進捗について執行部から報告

今年度再調査を実施している「平成21年度調査区域の2字」及び「平成25年度調査区域の11字」については、地権者説明会後、現地立会いを開始している。9月末までには終了する見込みであり、終了したところから順次、地積測量を行う予定である。また、昨年度、再調査を行った地籍調査成果の閲覧については、6月22日から7月12日までの約20日間において、対象区域内の各公民館で実施した。今後は、閲覧結果を踏まえ最終的な整理を行い、国・県へ認証請求を行う予定である。

なお、一昨年度に再調査を行った地籍調査成果については、6月末に国県の認証承認を得ており、最終的な登記のため、すでに法務局へ送付したところである。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



野口修一委員長

《議案関連》

令和3年度宇土市一般会計補正予算 (第7号)

問 新型コロナウイルスワクチン接種について、個別接種と集団接種の接種者数の当初見込みと現状はどうであったか。

答 当初、接種を集団接種より個別接種で受ける方のほうが多いと見込んでいたが、現状では、全体の約6割が集団接種となっている。当初、集団接種は平日の接種人数を1日80人と見込んでいたが、接種を進めていく中で、現場の医師や看護師のご協力により、1日168人の接種ができるようになった。特に、日曜日は1日504人の接種ができた。これは医師会の全面的なご協力があっておかげである。

(委員から意見) 実際に集団接種会場でワクチン接種を行ったが、現場のチームがしっかり連携して対応されており、スムーズに接種することができ、大変ありがたうと感じた。

(委員から意見) (ここまで実施できているのも医師会のおかげである。市内の医師の皆さんをはじめ医療機関の方々には、改めて

深く感謝申し上げたい。

(委員から要望) 今後、ワクチン接種済証がいろんな場面で活用されることとなった場合、接種済証を持っていないことで差別等が発生しないか心配するので、事前に対応を検討してほしい。

(委員から意見) ワクチン接種を受けられない人への配慮や受けられない人の権利も尊重すべきであり、ワクチン接種済証と同様に陰性証明書が活用されることとなった場合には、費用負担が大きいPCR検査に対する支援を国や県へ要望してほしい。

問 保育所における新型コロナウイルス感染症予防について、感染予防の課題は何か。

答 園内での消毒や換気は徹底されているが、小さい子どもにもマスクの着用を徹底させることや、どうしても遊びの中で密になること。また、園内で感染者が出て、濃厚接触者になった先生が休まざるを得なくなった場合、先生たちの勤務調整等が大変になることなどが課題としてあげられる。

問 学校ICT環境整備事業について、小中学校に整備されたタブレット端末の持ち帰りについての考えは。

答 タブレット端末の持ち帰りは予定しているが、各家庭のインターネット環境が全て整備されているわけではないので、今は斉に持ち帰りを開始することができない。学校ごとに、学校内によつては学年ごとに、できることから始めていく考えである。また、小学校低学年については、家庭での端末操作の練習などから進めていく必要がある。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



宮原雄一委員長

《執行部からの説明》

熊本・宇土道路、宇土道路、宇土三角道路における予算配分及び熊本・宇土道路、宇土道路における用地進捗率、事業進捗率については、前回の報告から変更はあつていない。

宇土道路

令和2年度繰越事業では、工事3件の工期の延長、令和3年度事業では、工事3件の契約締結及び1件の入札に伴う公告が行われている。

笹原トンネル新設工事について執行部から報告

今年の12月頃からトンネル工事が始まる予定であり、多い日で1日100台程度の往復で200台程度のダンプトラックが宇土市内の般道を通行することとなる。そのため、安全対策として集落内は時速30km以下の走行や交通誘導員の配置を行い、また、道路が損傷した場合は国土交通省で修繕等をされることとなっている。今後、市民生活に支障が生じないように国土交通省と連携を図り、迅速な対応に努めたい。

宇土三角道路

調査設計で2件の契約締結がなされている。

《主な質疑》

問 熊本宇土道路、宇土道路について、道路の高さや幅、車線の数を確認したいが、完成図面はあるのか。

答 国土交通省に提供できないか確認をとりたい。

(委員から意見) 有事の際は、熊本宇土道路や宇土道路を避難場所として活用できる。道路の高さなどの詳細がわかれば、道路へ上がる道や階段等の設計について要望できるので、確認してもらいたい。

(委員から要望) 宇土道路が熊本宇土道路より先に完成した場合、城塚町から北部農免道路へ抜ける車が増え渋滞する可能性がある。道路の幅や信号機の設置なども含め、早めに対策を検討してもらいたい。

答 今後、状況を踏まえながら検討していきたい。

(委員から要望) 地下水調査について、農家の方は地下水を汲み上げて農業用水を確保されている。国土交通省で具体的にどういった調査をされたのか、地下水への影響について確認してもらいたい。

答 どのような調査が実施されたのか、水位の変動や井戸が枯れた場合の対応等も含め国土交通省に確認したい。

(委員から要望) (仮称)城塚インターチェンジ及び(仮称)網田インターチェンジ周辺の開発について、今後、特別委員会で検討していくためにも、建設部と企画部で協議を行い、市としての開発計画を提出してもらいたい。

答 今後、企画部と調整したい。

賛否のわかれた議案等

提出者	件名	議決結果	表決数 賛成-反対	宇土、みらい			うと しせい会		六政会			宇土市政研 「志」										
				嶋本 主人	檜崎 政治	村田 宣雄	柴田 正樹	平江 光輝	小崎 憲一	宮原 雄一	山村 保夫	今中真之助	西田 和徳	野口 修一	中口 俊宏	佐美三 洋	園田 茂	藤井 慶峰	芥川 幸子	杉本 信一	福田 慧一	
議員	発議 第3号	新型コロナウイルスワクチンの若 年層や未成年者への接種に関す る意見書	否決	3-13	●	●	●	退	●	●	●	●	○	●	●	-	●	●	○	●	○	●
議員	発議 第4号	感染症拡大に強い地域経済にす るため、最低賃金の大幅引き上げ と全国一律化を求める意見書	可決	10-7	○	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	-	●	●	○	●	○	○
令和3年 陳情 第2号	感染症拡大に強い地域経済にす るため最低賃金の大幅引き上げと 全国一律制度求める陳情	採択	13-4	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	-	○	○	○	●	○	○
令和3年 陳情 第6号	厚生労働省が行っている「新型コ ロナウイルス感染症に係るワクチン 接種の事業」の12歳~大学生の 接種について再度検討のお願い	不採択	4-13	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	-	●	●	○	●	○	●	

○=賛成又は採択, ●=反対又は不採択, 欠=欠席, 退=退席, 除=除斥 ※議長職の中口俊宏議員は、可否同数の場合のみ裁決するため、「-」と表示しています。

全員賛成の議案等

提出者	番号	件名	議決結果
市長	第51号	令和2年度宇土市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
市長	第52号	令和2年度宇土市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第53号	令和2年度宇土市北段原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第54号	令和2年度宇土市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第55号	令和2年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第56号	令和2年度宇土市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第57号	令和2年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第58号	令和2年度宇土市水道事業会計決算の認定について	認 定
市長	第59号	令和2年度宇土市公共下水道事業会計決算の認定について	〃
市長	第60号	専決処分報告及び承認を求めることについて 専決第15号 令和3年度宇土市一般会計補正予算(第5号)について	承 認
市長	第61号	専決処分報告及び承認を求めることについて 専決第16号 熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について	〃
市長	第62号	専決処分報告及び承認を求めることについて 専決第18号 令和3年度宇土市一般会計補正予算(第6号)について	〃
市長	第63号	公益的法人等への宇土市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
市長	第64号	宇土市個人情報保護条例及び宇土市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第65号	宇土市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第66号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第67号	宇土市道路線の認定について	〃
市長	第68号	令和3年度宇土市一般会計補正予算(第7号)について	〃
市長	第69号	令和3年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	〃
市長	第70号	令和3年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	〃
市長	第71号	令和3年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算(第1号)について	〃

提出者	番号	件名	議決結果
市長	第72号	令和3年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
市長	第73号	令和3年度宇土市水道事業会計補正予算(第2号)について	〃
市長	第74号	令和3年度宇土市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について	〃
市長	第75号	宇土市教育長の任命について	同意
市長	第76号	宇土市教育委員会の委員の任命について	〃
議員	発議第2号	出産育児一時金の増額を求める意見書	可決

報告

報告番号	件名
第15号	令和2年度宇土市財政の健全化判断比率について
第16号	令和2年度宇土市漁業集落排水施設整備事業資金不足比率について
第17号	令和2年度宇土市水道事業資金不足比率について
第18号	令和2年度宇土市公共下水道事業資金不足比率について
第19号	専決処分の報告について 専決第14号 損害賠償額の決定について
第20号	専決処分の報告について 専決第17号 損害賠償額の決定について

請願・陳情

受理番号	件名	付託委員会	議決結果
令和3年 陳情第3号	別居・離婚後の共同親権及び共同養育の法整備に関する陳情書	文教厚生	継続審査
令和3年 陳情第4号	児童福祉の環境改善に関する陳情書	〃	〃
令和3年 陳情第5号	超高齢社会にチャレンジするシルバー人材センターの決意と支援の要望	〃	〃

編集後記

今年も早いものであと2カ月足らずとなりました。コロナ禍での不自由な生活が昨年から続いておりましたが、ワクチン接種と皆様の自粛の努力のおかげで、ようやく光が見えてきたように感じています。また、9月いっぱい、熊本県のまん延防止等重点措置が解除されました。12月には忘年会シーズンを迎えます。コロナが収束し、再び宇土市の街に賑わいと活気が戻ることを願っております。

さて、今年の議会だよりの発行は、今号で最後になります。来年も引き続き皆様に市議会の情報をお届けするため、分かりやすい議会だよりを目指してまいります。

最後に、市民の皆様が晴れやかな気持ちで新年を迎えられますよう心からご祈念申し上げます。

編集委員

委員長／樫崎政治 副委員長／野口修一
委員／園田茂 委員／西田和徳

市議会の傍聴のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、9月定例会では一般傍聴の自粛をお願いしました。

今後の市議会の傍聴につきましては、市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議(定例会・臨時会)の会議録を公開しています。

本会議の会議録(冊子)は、市情報公開コーナー(仮設庁舎1階ロビー)、市立図書館で閲覧できます。

なお、令和3年9月定例会の会議録は、令和3年12月定例会以降に閲覧可能です。

【お問い合わせ】 市議会事務局

0964-22-1111 内線234



令和3年12月 定例会会期日程

12月定例会の日程は、市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。(11月上旬に決定予定) 広報うと12月号にも掲載予定です。

